



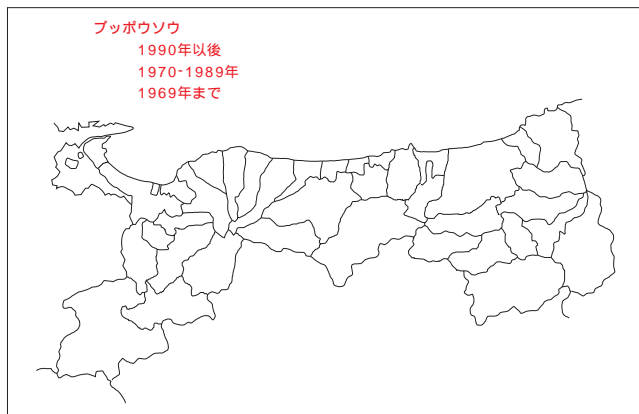
撮影：田中一郎

選定理由：県内の繁殖例が顕著に減少している。

形態と生態：全長30cm内外，足と口ばしは赤く，体色は濃青色。夏鳥として5月頃から落葉広葉樹や針葉樹の林や山間部の樹林の多い集落にすみ，木や電柱の穴で繁殖する。ゲツゲツと鳴き，餌は大型の昆虫。1970年代までは県内各地で確認されていたが，現在は八東町など数例の繁殖しか確認されていない。繁殖に利用していた大きな樹洞や木製の電柱がなくなったためと思われる。

分布(県内)：観察例は数例あるが，現在繁殖が確認されているのは八東町と日南町のみである。

分布(県外)：本州，四国，九州，極東ロシア，朝鮮半島，



中国東北部，オーストラリア東海岸で繁殖。東南アジア等で越冬。

生息環境：山間部の落葉広葉樹林，常緑広葉樹林，スギ林など。

保護上の留意点：樹洞のある大木や木製の電柱がなくなったために減少したと考えられる。巣箱の設置は有効。

文献：
細谷賢明(1993)ブッポウソウ. pp. 52-53. In: 鳥取県のすぐれた自然(動物).

執筆：土居克夫